

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	唐津市立東唐津小学校
1 前年度 評価結果の概要	①学力向上、心の教育、健康・体づくりに関する取組が、児童の「知・徳・体」の向上につながったことがうかがえる。今後は、学習指導方法の改善、充実、基盤となる仲間づくり、一人一人に寄り添う教師の人材育成の観点から具体的に取組を見直し、より一層の充実を図る。 ②コロナ禍で薄れていた児童、教員、保護者や地域が連携した学校行事等が再回できてきたことにより、児童の「知・徳・体」の更なる向上が見えてきた。今後は、「ひがしっ子」の合言葉のもと、地域とともに各行事等の目的を再確認しながら時代に合った更なる連携を模索し、実施していく。 ③児童への「出番・役割・称賛」が、児童の「自己有用感」を高めることへつながったことがうかがえる。今後も、児童の頑張りを的確に見取り、称賛と励ましを続けていくだけでなく、広く地域、家庭との連携を強めながら、児童のより高い「自己有用感」を目指してキャリア教育を充実させる。 ④本校の特色を生かした一人一人を大切に教育、障害の有無に関係なく、誰もが一緒に学ぶ教育への取組が数値目標に達することができた。今後は、取組により見えた課題を解決すべく教職員の研修、研鑽に励み、それぞれの教育の質的向上を組織的に検討し、更なる充実を図る。 ⑤業務改善・教職員の働き方改革の数値目標は達成できている。今後は、管理職のマネジメントのもと、本改革の趣旨である子供と向き合う時間の確保と教育の質の向上に向けて、各教職員の指導技能の向上、教職員の人材育成に向けた実効的、効率的な研修を実施し、さらなる充実を図る。
2 学校教育目標	みんなと確かに伸びる子どもの育成 ○ひびき合うあいさつ ○がんばる勉強・読書 ○しっかり仕事 ○コミュニケーション ができる東っ子
3 本年度の重点目標	①児童が主体的に学習や生活、学校行事等に関わる組織づくりと手立てを工夫し、児童の「知・徳・体」の向上を目指す。 ②「ひがしっ子」の合言葉のもと、児童・職員・保護者・地域が目標を共有し、連携を深めながら、児童の「知・徳・体」の向上を図る。 ③キャリア教育推進のための手立てを確立し、児童の「志」の確立と自己有用感の向上を図る。 ④それぞれの個性や多様な価値観が尊重され、安心して学ぶことができるためのインクルーシブ教育の充実を図る。 ⑤業務改善・教職員の働き方改革による、ゆとりある教育活動の推進を図る。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○全職員による目指す子ども像の共通理解と校内研で行う各自の課題解決のための実践	○学習についての意識調査を行い、児童が自らの学習において課題をおおむね達成したと答えた児童80%以上を目指す。	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「書く活動」、「話し合う活動」を意識した学習を行う。	・	・	・	・	・	・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○県DVD教材を使った道徳の授業や全校道徳後の振り返りにおいて、肯定的な回答をした児童の割合が85%以上	・全学級が年に1回以上は、道徳の学習で県のDVD教材「ジンちゃんケンちゃん」を使用した授業を行う。 ・全校道徳では外部講師を積極的に招き、児童に「命」「仲間」「共生」について考えさせる。	・	・	・	・	・	・
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止等(いじめの定義、いじめ防止等)についての取組、事後対処等)について、組織対応ができていると回答した教師の割合が90%以上	・毎月末に全児童を対象とした「なかよしアンケート」を実施し、児童の実態を把握する。いじめを覚知したら、全職員で解決を図る。 ・児童の様子等を共有する子ども理解研修会を毎月実施し、全職員の共通理解を図る。	・	・	・	・	・	・
	●児童生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・児童の資質・能力を育む授業づくりを推進する。 ・キャリアパスポートを活用し児童の夢や目標を可視化し、指導へ生かす。 ・ソーシャルスキルトレーニング等を通して児童の良い所を積極的に賞賛する。	・	・	・	・	・	・
●健康・体づくり	○「運動習慣の改善や定着化」	○「授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で300分以上」の児童60%以上を目指す。定期的にアンケートを取り調査をする。	・運動会や体カテストについて事前にしておくとよい運動について情報提供をしたり、マラソン大会や縄跳び大会の前に、全校で昼休みに練習をする時間を設ける。	・	・	・	・	・	・
	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	・食事では好きなもの嫌いなもの関係なく何でも食べる児童70%以上。	・ランチルームに、食に関する資料を毎月掲示する。 ・栄養教諭と連携した食育指導を学期に1回行う。	・	・	・	・	・	・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・教師個々が時間外在校時間を自覚できるように個人記録を作成する。また、定時退勤日(原則毎週金曜日)を設定する。	・	・	・	・	・	・
●特別支援教育の充実	○全ての児童を対象とした、分かりやすい授業の実践	○児童の実態を把握し、合理的配慮を意識した授業ができていると回答した教師80%以上	・個別の支援計画の作成と活用 ・特別支援教育に関する研修会の実施	・	・	・	・	・	・

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
◎地域連携・地域を愛する人材育成	OPTAや地域と交流する活動への積極的な企画、参加	○交流活動で地域の良さに気づき、継続させようと考えた児童80%以上	・松原保全活動や海洋教育ハイオニアスクールプログラムを地域との結び付きから自分事として考えさせ、切実感や必要感をもたせる。	・	・	・	・	・	・

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・
次年度への展望

--	--